YPES-15-1197

DC充電コネクタ
取扱説明書

本取扱説明書は、発行先に対し連絡なしに
改訂する場合がありますので、ご了承ください。

矢崎総業株式会社

矢崎部品株式会社

制定年月日　　:2010年11月10日
最新改訂年月日:2012年11月14日

DC充電コネクタ

※本製品はCHAdeMOシステム専用です。それ以外では使用しないでください。

・JEVS G105に準拠。

・IEC62196-1に準拠

・UL 2251に準拠

・CSA C22.2 No.182.2に準拠

製品規格書「YPES-11-04-213」

この度は、矢崎製DC充電コネクタを
お買い上げ頂き、誠にありがとう
ございました。

本コネクタを安全に正しく使用して
いただくために、お使いになる前に
この取扱説明書をよくお読みになり
十分に理解してください。

お読みになった後は、お使いになるときに
いつでも見られるように保管して下さい。

表示の説明

⚠ 警告	取扱を誤った場合、死亡または重大な損害を生じる可能性が想定される内容です。(主に失明や火傷、感電、骨折)
⚠ 注意	取扱を誤った場合、傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定される内容です。(治療に入院等を要さない怪我や火傷、または物的損害は家屋、家財、家畜、ペットも含まれる)

目次

1. 安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守り下さい。

⚠ **警告：誤った使い方をすると、死亡又は重傷などを負う可能性が想定されます。**

・分解、修理、改造をしないでください。

火災、感電、怪我の原因となります。

分解禁止

・定格電圧以外では使用しないでください。

火災、感電の原因となります。

・ケーブルは、破損したまま使用しない、また傷つけないでください

(加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・重いものを載せる
はさみこむなど)
火災、感電の原因となります。

**・煙が出ている、変な音やにおいがする等の
異常状態のまま使用しないでください**

火災、感電の恐れがあります。
すぐに充電を止め、煙が出なくなるのを確認してから
お買い上げ頂いた販売店へご相談ください。

・お手入れの際は電源を切ってから行ってください。

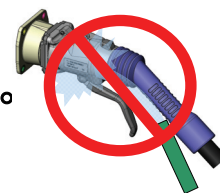
感電や怪我の恐れがあります。

・充電中に無理に引き抜かないでください。

故障、感電、火災の原因となります。
車両側インレットとのロック機構により、ロック解除ボタンを押さないと外れません。
特にケーブルを持って引き抜かないでください。

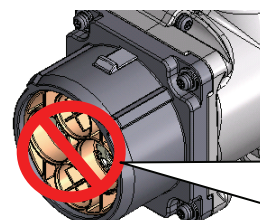
⚠ 警告

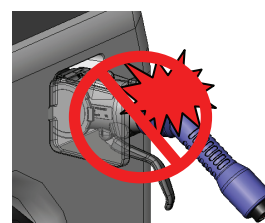
・充電コネクタに直接水または液体をかけないでください。

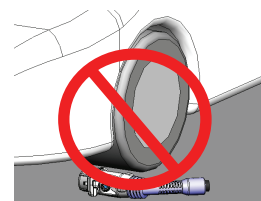
充電中の防水性能はIP 44等級の防水性を有しています。

・端子に触れないでください。

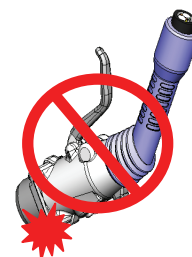
感電の恐れがあります。

・火気を近づけないで下さい。

火災の原因となります。

・充電中に本体へ衝撃を与えないでください。

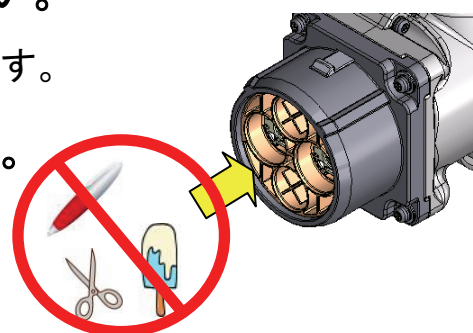
感電、火災の恐れがあります。
破損した場合、すぐに充電を停止し、
お買い上げ頂いた販売店へご相談ください。

・人や車等で踏まないでください。

破損による怪我、感電、火災の恐れがあります。

・落下させないでください。

故障及び破損による感電、火災や怪我の恐れがあります。
万が一、水溜り等に落とした場合はお買い上げ頂いた
販売店へご相談ください。

**・充電中に本製品の上に乗ったり、
寄り掛かったり、物を乗せたりしないでください。**

変形、破損による怪我、感電、火災の恐れがあります。

・挿し込み間口に異物等を入れないでください。

故障、感電、火災の恐れがあります。
ご使用の前に異物がないか確認してください。

⚠ 警告

・子供だけで使わせたり、幼児の手の届く場所で使用しないでください。

感電、怪我、火傷の恐れがあります。

・本製品は、重量物のため取扱にはご注意ください。

怪我の恐れがあります。

・ケーブルを継足さないでください。

接続部からの漏電の恐れがあります。ケーブルの届く範囲でご使用ください。

・充電コネクタを挿したまま、走行しないでください。

事故に繋がる恐れがあります。

⚠ 注意：取扱いを誤った場合、障害を負う可能性または物的損害の発生が想定さます。

・周囲温度−40℃～60℃以外での使用はお止め下さい。

充電機能部品が損傷する恐れがあります。

・周囲温度が−40℃以下で保管しないでください。

損傷、低温火傷の恐れがあります。

・周囲温度が80℃以上で保管しないでください。

損傷、火傷の恐れがあります。

・充電完了後、充電コネクタを充電スタンドの専用ホルダに戻してください。

この製品は屋外使用可能ですが、車両側コネクタ用ホルダを雨や雪が直接
当たらない場所へ設置してください。故障の原因となります。

・レバー操作時に指を挟まないように注意してください。

怪我の恐れがあります。

・高温時、低温時には充電コネクタを素手で触れないでください。

火傷、低温火傷の恐れがあります。

2. 各部の名称と働き

(1) 充電コネクタ

リリースボタン
レバーのロック解除及び、車両側インレットとのロック解除を行います。

充電表示ランプ(赤)(LED)
点灯中は通電状態を示します。

ラッチ
車両側インレットとのロックを行います。

ケーブル

グリップ
(握手部)

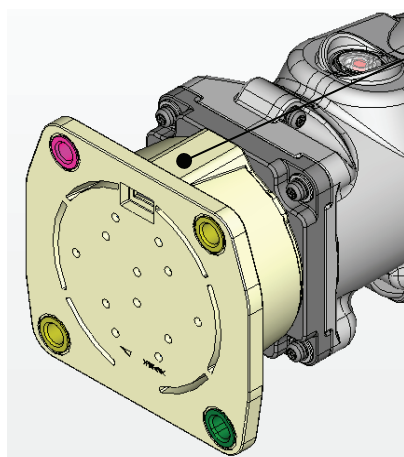
レバー
レバーを握ることにより車両側インレット端子との接続を行います。

挿し込み口ガイド
車両側インレットと挿し込み時の目安となります。

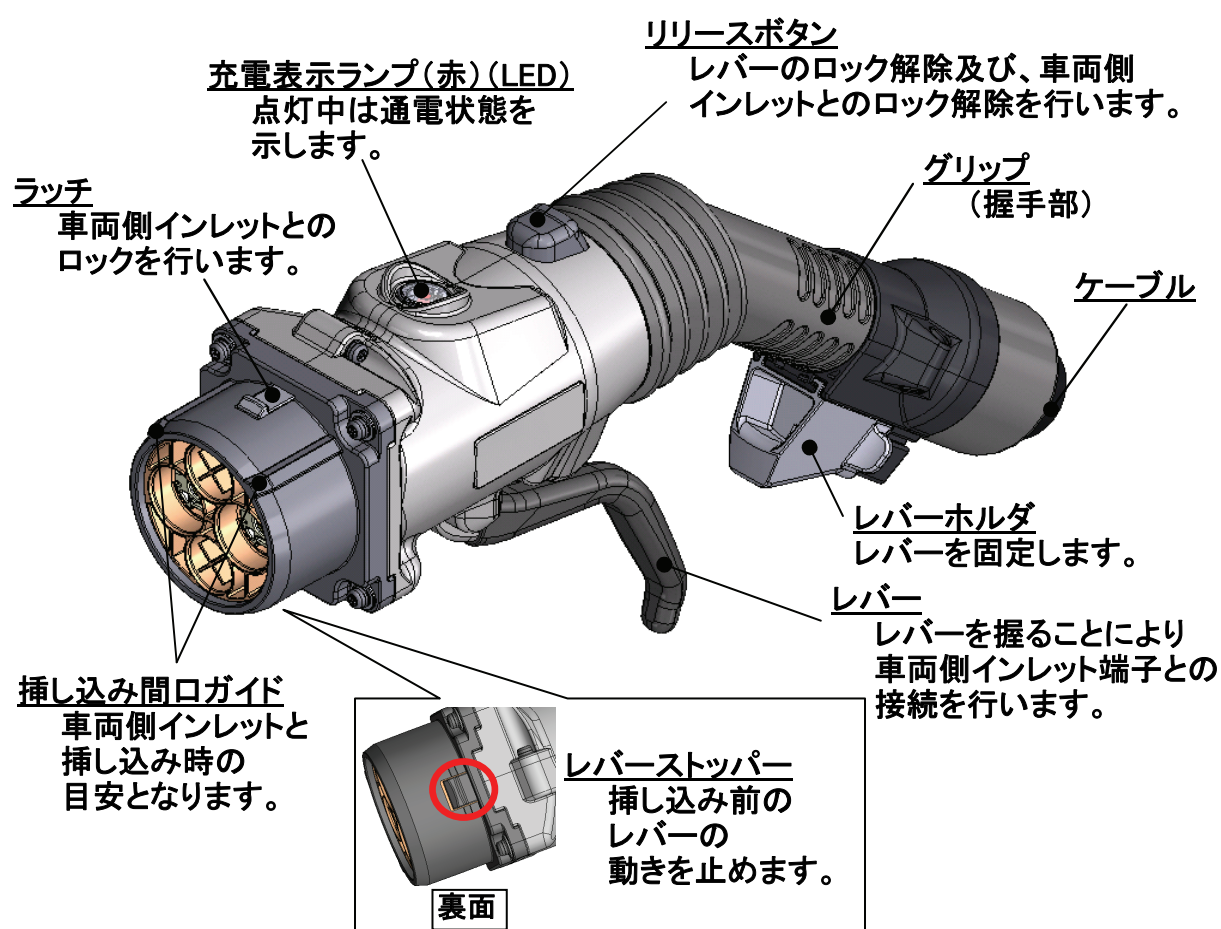
レバーストッパー
挿し込み前のレバーの動きを止めます。

裏面

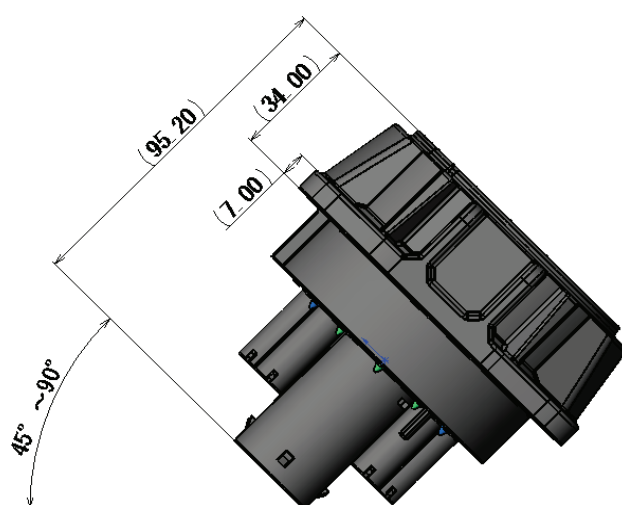
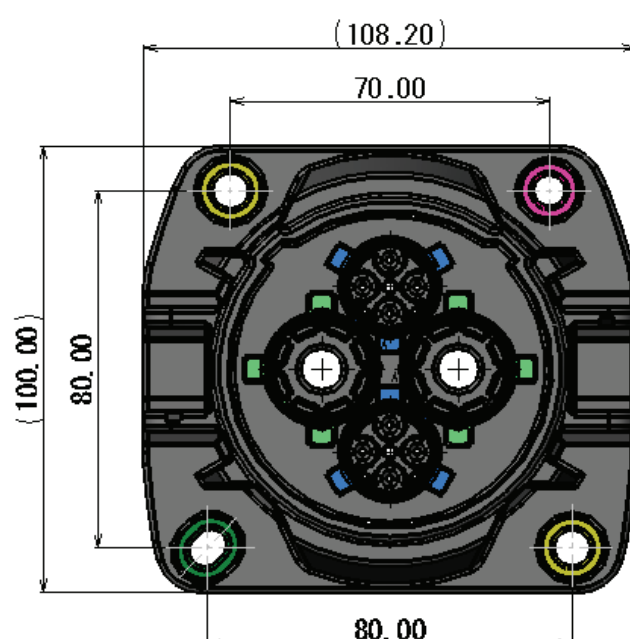
(2) キャップ　(欧州仕様のみ)

キャップ装着時

キャップ
保管時に異物の侵入を防ぎます。

キャップを充電コネクタホルダとして使用しないでください。
レバーを握って充電コネクタをロックすることができないため、充電コネクタが落下する恐れがあります。

(3) 充電コネクタ(レバーホルダ付き)

(4) 充電コネクタ用ホルダ

品番: 7225-5396-3W(キャップ左開き)
7225-5397-2W(キャップ右開き)
7225-5398-3W(キャップ無し)

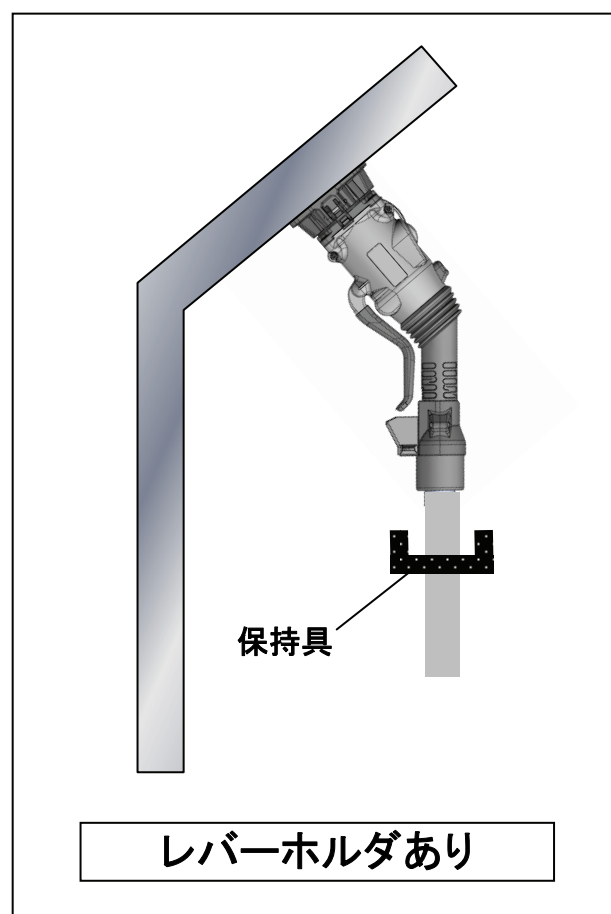
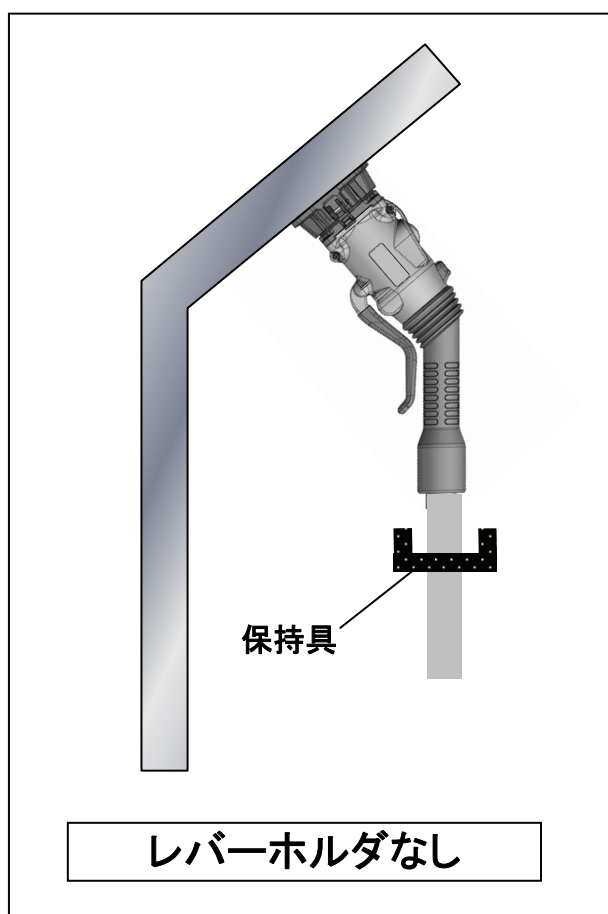
充電コネクタ用ホルダを下記の設置寸法を参考に、
充電スタンドに設置してください。
充電コネクタをホルダに収納する際は、レバーを握って
固定して下さい。

推奨設置寸法

(5) 充電コネクタ用ホルダ

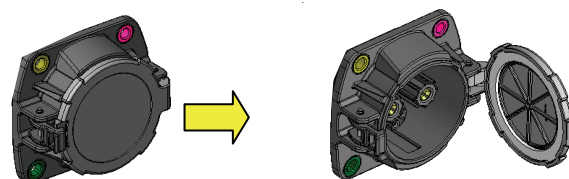
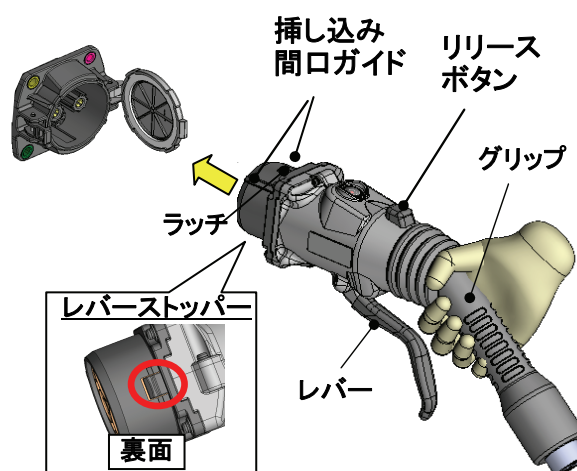
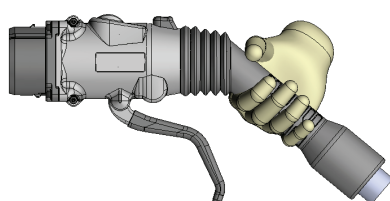
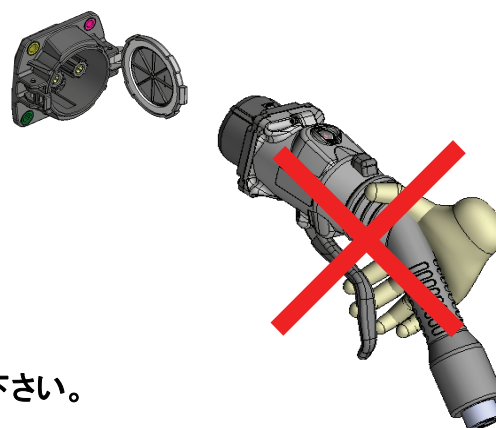
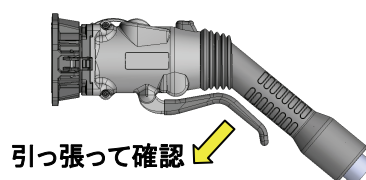
前頁の推奨設置寸法以外の角度でホルダを設置すると、
充電コネクタが落下し、怪我をする恐れがあります。

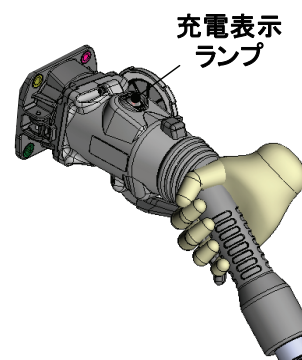
推奨設置寸法以外の角度で設置する場合は、
下図のような保持具等を使用し、充電コネクタまたは
ケーブルを支えてください。

レバーホルダなし

レバーホルダあり

3. 使用方法(操作手順)

≪挿し込み作業≫

① 車両側インレットの蓋を開けます。

② グリップを握りながら、挿し込み間口のガイドに沿って挿し込み、突き当たるまで充電コネクタを挿し込んでください。

【注意事項】
充電コネクタをインレットに挿し込む際にレバーを握らないでください。
レバーストッパーが可動せず、挿し込むことができません。
この状態で無理に挿し込まないでください。
無理に挿し込むと製品の破損の恐れがあります。
また、挿し込み作業中はリリースボタンを押さないで下さい。
完全に挿し込めなくなる恐れがあります。

③ レバーをカチッと音がして戻らなくなるまで握って下さい。
手でレバーを引っ張って、レバーが下がらないことを確認してください。

完全にレバーを握らないと充電中に充電コネクタが外れて、充電コネクタ及び車両側インレットが焼損する場合があります。

充電が開始されると、充電表示ランプが点灯し、<u>電磁ソレノイド</u>によりレバーが固定されます。

≪引き抜き作業≫

① 充電表示ランプが消えている事を
確認してください

【注意事項】
充電表示ランプが点灯している時は充電中のため
引き抜き作業をしないでください。
故障、感電、火災の恐れがあります。

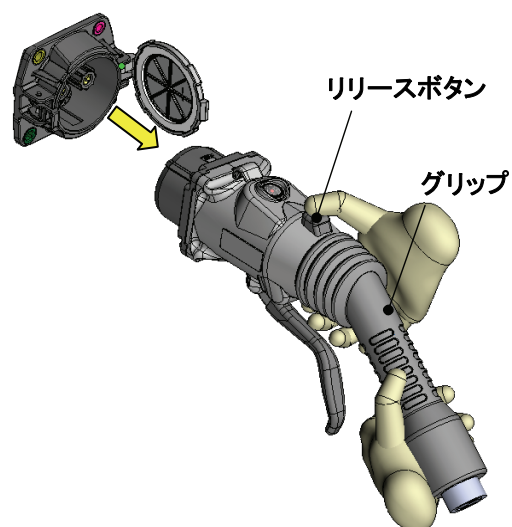
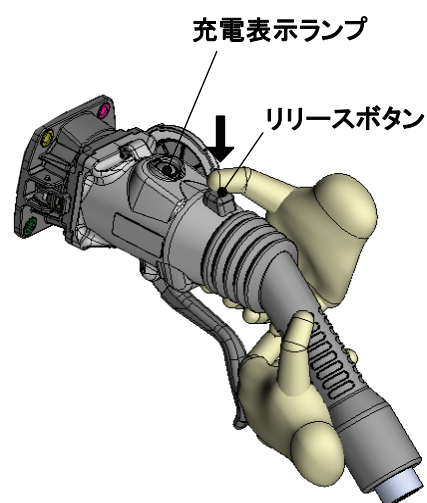
② カチッと音がするまでリリースボタンを
押して、レバーを下げてください。

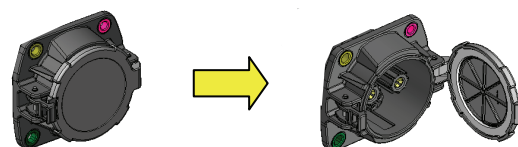
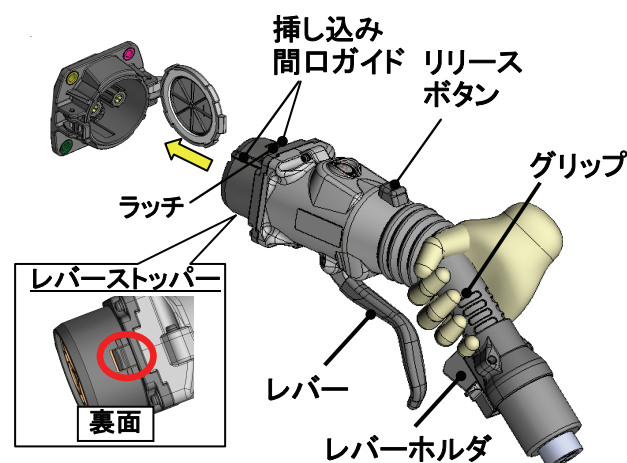
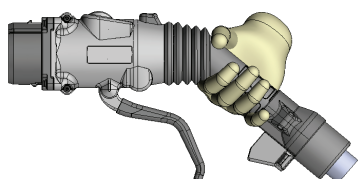
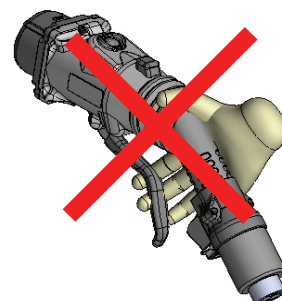
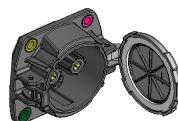
【注意事項】
リリースボタンを操作する際、レバーは
握らないでください。
レバーを握ったまま、リリースボタンを
押してもレバーは戻りません。

③ グリップを握り、リリースボタンを
押したまま引き抜いてください。

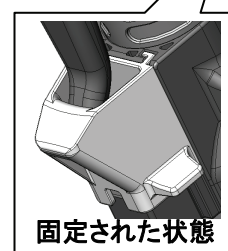
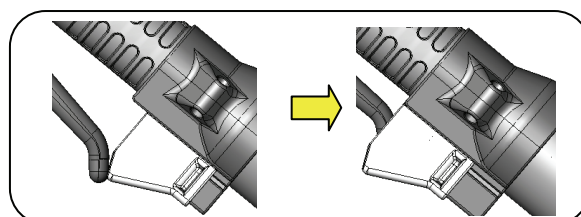
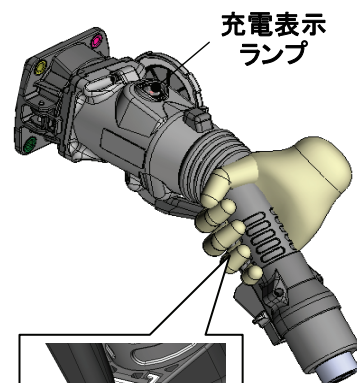
④ 車両側インレットの蓋を閉じます。

⑤ 充電スタンドの所定の設置場所に
必ず戻してください。

【注意事項】
充電スタンド毎に設置場所が異なるため、
注意してください。

≪挿し込み作業≫（レバーホルダ付き操作手順）

① 車両側インレットの蓋を開けます。

② グリップを握りながら、挿し込み間口の
ガイドに沿って挿し込み、突き当たるまで
充電コネクタを挿し込んでください。

【注意事項】
充電コネクタをインレットに挿し込む際に
レバーを握らないでください。
レバーストッパーが可動せず、挿し込む
ことができません。
この状態で無理に挿し込まないでください。
無理に挿し込むと製品の破損の恐れがあります。
また、挿し込み作業中はリリースボタンを
押さないで下さい。完全に挿し込めなくなる恐れがあります。

③ レバーを最後まで握って下さい。
レバーホルダにレバーがはまります。
レバーホルダにレバー先端が入り込む様、
カシャっと音がするまで握って下さい。

［充電が開始されると、充電表示ランプが点灯し
電磁ソレノイドによりレバーが固定されます。］

完全にレバーを握らないと充電中に充電コネクタが
外れて、充電コネクタ及び車両側インレットが
焼損する場合があります。

≪引き抜き作業≫(レバーホルダ付き操作手順)

① 充電表示ランプが消えている事を
確認してください

【注意事項】
充電表示ランプが点灯している時は充電中ですので
引き抜き作業をしないでください。
故障、感電、火災の恐れがあります。

② レバーホルダを下げ、カチッと音が
するまでリリースボタンを押して、
レバーを下げてください。

【注意事項】
レバー先端がレバーホルダに入って
いるときはレバーは下がりません。
リリースボタンを操作する際、レバーは
握らないでください。
レバーを握ったまま、リリースボタンを
押してもレバーは戻りません。

③ グリップを握り、リリースボタンを
押したまま引き抜いてください。

④ 車両側インレットの蓋を閉じます。

⑤ 充電スタンドの所定の設置場所に
必ず戻してください。

【注意事項】
充電スタンド毎に設置場所が異なるため、
注意してください。

DC充電コネクタ 緊急離脱操作方法

本操作は、通常の離脱操作でコネクタが外れない場合のみ行ってください。

充電器の電源がオフになっていることを確認してから、コネクタの離脱操作を行ってください。

通電中に本操作を行うと、感電やコネクタが焼損する恐れがあります

操作方法

① コネクタ側面部のネジに六角レンチを差込む。

② 六角レンチを反時計回りに回し、ネジを取り外す。

六角レンチ
（適用サイズ：2mm）

14.0以上

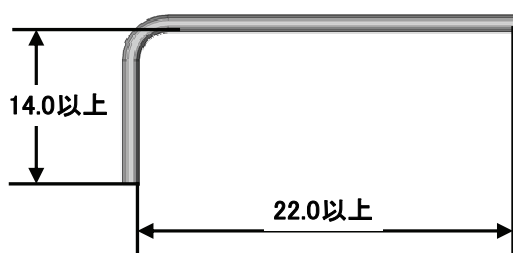
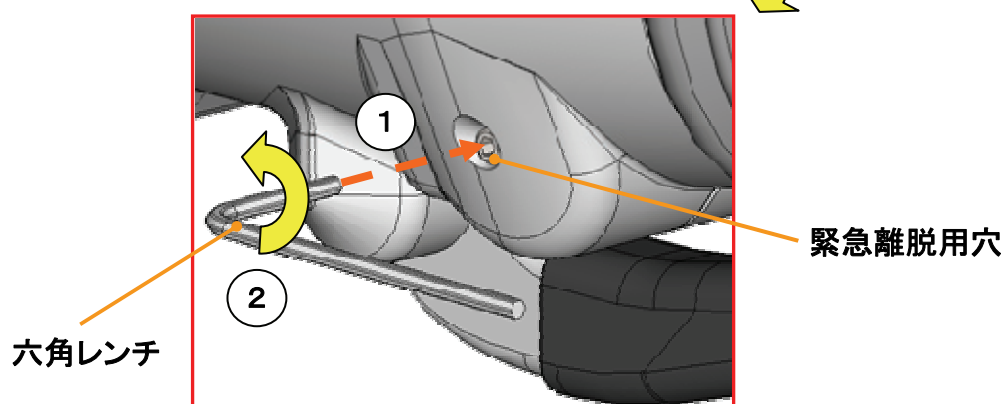
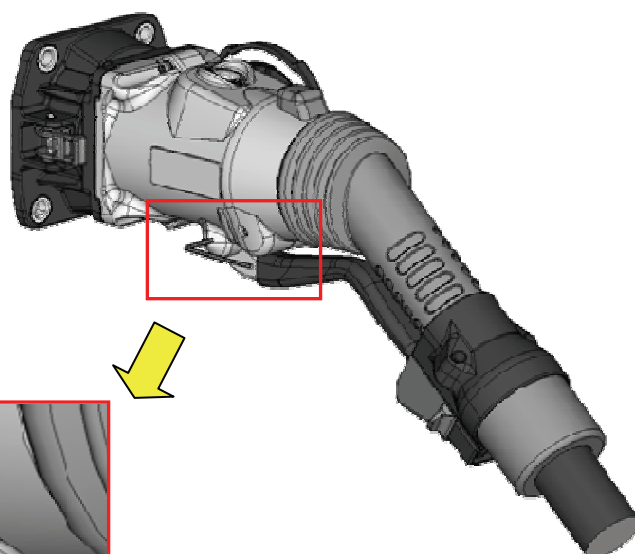
22.0以上

六角レンチ推奨形状

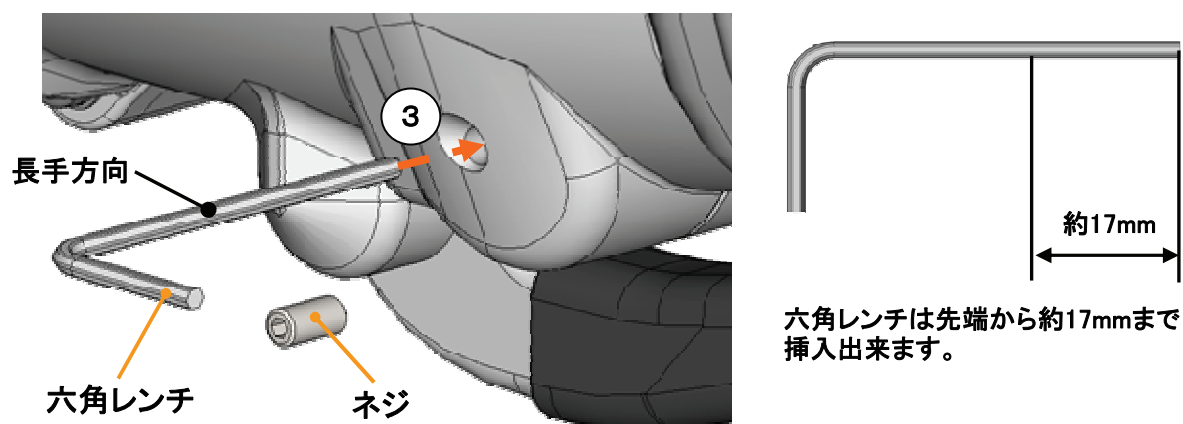
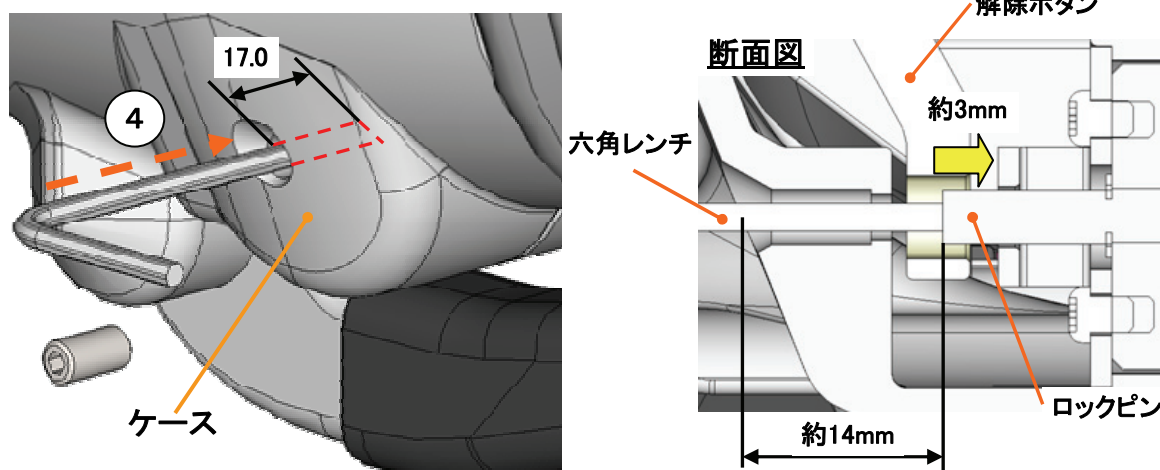
1

2

六角レンチ

緊急離脱用穴

操作方法

③ ネジを取り外した穴に六角レンチを差し込む。

六角レンチは先端から約17mmまで挿入出来ます。

④ 六角レンチを押し込む。

・ケース表面から、約14mm挿入するとロックピンと接触する。
・ロックピンと接触後、約3mm押すとロックが解除される。

⑤ 六角レンチを抜く。

⑥ 解除ボタンを押し、コネクタを外す。
（コネクタを外した後、外したネジを元の位置に組付ける）

※ コネクタがうまく外れない場合、手順③からやり直してください。

本操作を行ったコネクタは修理が必要です。
お買い上げいただいた販売店までお問い合わせください。

4. 定期点検とお手入れ

⚠ 警告

定期点検・お手入れは、必ず充電器の電源をオフにした状態で行ってください。

1. 定期点検

・使用前に充電コネクタかん合間口内に異物が付着していたら、取り除いてください。
（異物が付着したままご使用になりますと、充電コネクタの端子破損による充電不良や、パッキン類の破損による漏電の恐れがあり危険です。）

・ケーブルの絶縁被覆が破れ内部の電線が露出したら、
お買い上げの販売窓口へご相談ください。

2. お手入れ

⚠ 警告

充電コネクタには水をかけないで下さい。感電する恐れがあります。

充電ケーブルの清掃は、固く絞った布で拭いてください。
（ガソリン、ベンジン、シンナー、磨き粉、洗剤などは、製品を傷めますので絶対に
使用しないでください。）

5. 仕様

日本仕様（レバーホルダ付き）

形式		日本仕様（レバーホルダ付き）
定格電圧	電力回路	DC500V以下
	信号回路	12V以下
定格電流	電力回路	125A以下
	信号回路	2A以下
使用電線	電力回路	40mm^2×2
	信号回路	0.75mm^2×7
外形寸法（mm）		幅77mm×奥行352mm×高さ184mm
重量（kg）		1.6 kg（ケーブルを除くコネクタ単体重量）
絶縁抵抗		5MΩ以上（DC500V）
耐電圧		DC2500V 1分間印加
ソレノイド		コイル抵抗値:46Ω±10%、使用電圧:DC9V～16V
LED		電圧:2.5V、電流:20mA
取得認証		－
品番		73FD－1200－48

※詳細な回路図はP23をご覧ください。

北米仕様

形式		UL仕様 UL・CSA仕様
定格電圧	電力回路	DC500V以下
	信号回路	12V以下
定格電流	電力回路	120A以下
	信号回路	2A以下
使用電線	電力回路	2AWG×2
	信号回路	18AWG×7
外形寸法（mm）		幅77mm×奥行352mm×高さ184mm
重量（kg）		1.6 kg（ケーブルを除くコネクタ単体重量）
絶縁抵抗		5MΩ以上（DC500V）
耐電圧		DC2500V 1分間印加
ソレノイド		コイル抵抗値:46Ω±10%、使用電圧:DC9V～16V
LED		電圧:2.5V、電流:20mA
取得認証		UL 2251
		CSA C22.2 No.182.2
品番		7325-8785-3R （UL仕様）
		73FD-1200-40 （UL・CSA仕様）

※詳細な回路図はP24をご覧ください。

北米仕様（レバーホルダ付き）

形式		UL仕様（レバーホルダ付き） UL・CSA仕様（レバーホルダ付き）
定格電圧	電力回路	DC500V以下
	信号回路	12V以下
定格電流	電力回路	120A以下
	信号回路	2A以下
使用電線	電力回路	2AWG×2
	信号回路	18AWG×7
外形寸法（mm）		幅77mm×奥行352mm×高さ184mm
重量（kg）		1.6 kg（ケーブルを除くコネクタ単体重量）
絶縁抵抗		5MΩ以上（DC500V）
耐電圧		DC2500V 1分間印加
ソレノイド		コイル抵抗値:46Ω±10%、使用電圧:DC9V～16V
LED		電圧:2.5V、電流:20mA
取得認証		UL 2251
		CSA C22.2 No.182.2
品番		7325-8982-3R （UL仕様）
		73FD-1200-41 （UL・CSA仕様）

※詳細な回路図はP24をご覧ください。

北米仕様（緊急離脱機構付き）

形式		UL・CSA仕様（緊急離脱機構付き）
定格電圧	電力回路	DC500V以下
	信号回路	12V以下
定格電流	電力回路	120A以下
	信号回路	2A以下
使用電線	電力回路	2AWG×2
	信号回路	18AWG×7
外形寸法（mm）		幅77mm×奥行352mm×高さ184mm
重量（kg）		1.6 kg（ケーブルを除くコネクタ単体重量）
絶縁抵抗		5MΩ以上（DC500V）
耐電圧		DC2500V 1分間印加
ソレノイド		コイル抵抗値:46Ω±10%、使用電圧:DC9V～16V
LED		電圧:2.5V、電流:20mA
取得認証		UL 2251
		CSA C22.2 No.182.2
品番		73FD-1200-49 （UL・CSA仕様）

※詳細な回路図はP24をご覧ください。

欧州仕様

形式		欧州仕様
定格電圧	電力回路	DC500V以下
	信号回路	12V以下
定格電流	電力回路	120A以下
	信号回路	2A以下
使用電線	電力回路	35sq×2
	信号回路	0.75sq×7
外形寸法（mm）		幅77mm×奥行352mm×高さ184mm
重量（kg）		1.6 kg（ケーブルを除くコネクタ単体重量）
絶縁抵抗		5MΩ以上（DC500V）
耐電圧		DC2500V 1分間印加
ソレノイド		コイル抵抗値:46Ω±10%、使用電圧:DC9V～16V
LED		電圧:2.5V、電流:20mA
取得認証		IEC62196-1
品番		7325-8786-3R

※詳細な回路図はP24をご覧ください。

欧州仕様（レバーホルダ付き）

形式		欧州仕様（レバーホルダ付き）
定格電圧	電力回路	DC500V以下
	信号回路	12V以下
定格電流	電力回路	120A以下
	信号回路	2A以下
使用電線	電力回路	35sq×2
	信号回路	0.75sq×7
外形寸法（mm）		幅77mm×奥行352mm×高さ184mm
重量（kg）		1.6 kg（ケーブルを除くコネクタ単体重量）
絶縁抵抗		5MΩ以上（DC500V）
耐電圧		DC2500V 1分間印加
ソレノイド		コイル抵抗値:46Ω±10%、使用電圧:DC9V～16V
LED		電圧:2.5V、電流:20mA
取得認証		IEC62196-1
品番		7325-8983-3R

※詳細な回路図はP24をご覧ください。

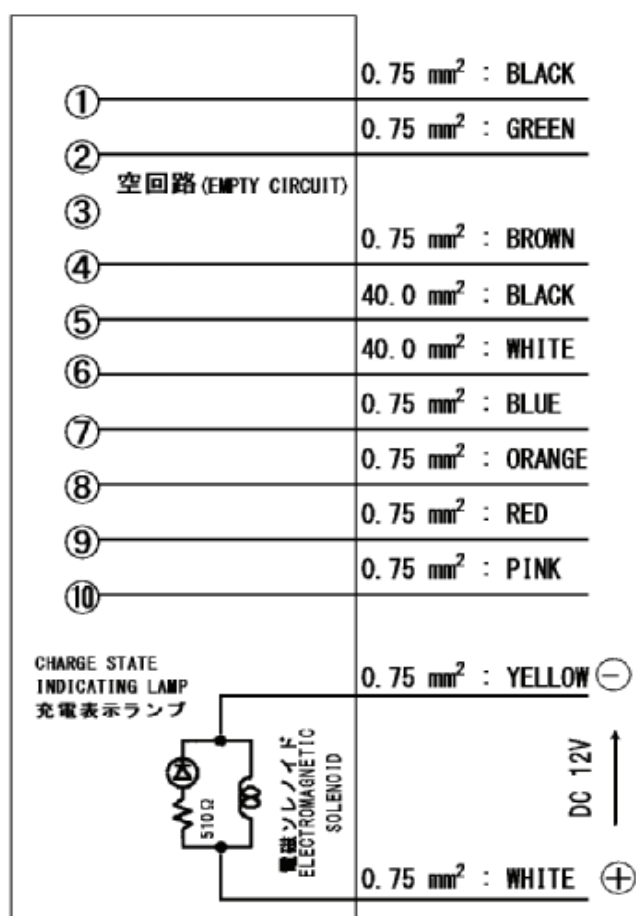
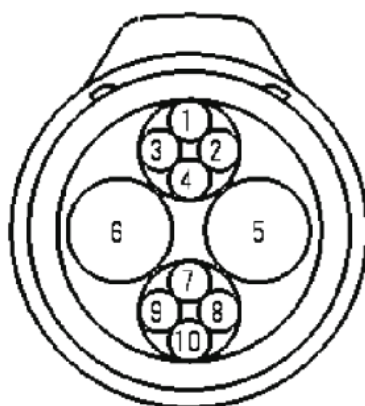
欧州仕様（緊急離脱機構付き）

形式		欧州仕様（緊急離脱機構付き）
定格電圧	電力回路	DC500V以下
	信号回路	12V以下
定格電流	電力回路	120A以下
	信号回路	2A以下
使用電線	電力回路	35sq×2
	信号回路	0.75sq×7
外形寸法（mm）		幅77mm×奥行352mm×高さ184mm
重量（kg）		1.6 kg（ケーブルを除くコネクタ単体重量）
絶縁抵抗		5MΩ以上（DC500V）
耐電圧		DC2500V 1分間印加
ソレノイド		コイル抵抗値:46Ω±10%、使用電圧:DC9V～16V
LED		電圧:2.5V、電流:20mA
取得認証		IEC62196-1
品番		73FD-1200-4A

※詳細な回路図はP24をご覧ください。

DC充電コネクタ（日本仕様）

（JEVS G105 標準回路）

端子配列
正面視

回路図

DC充電コネクタ （北米・欧州仕様）

（JEVS G105 標準回路）

端子配列
正面視

回路図（UL, CSA）

回路図（CE）